

経営比較分析表（令和2年度決算）

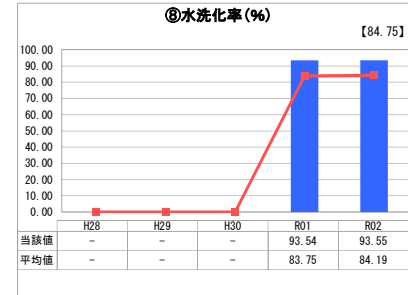
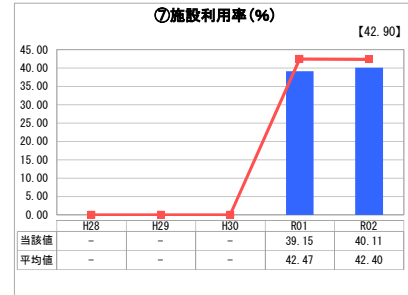
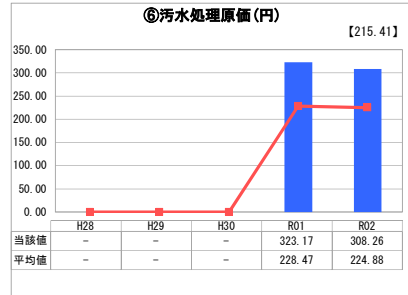
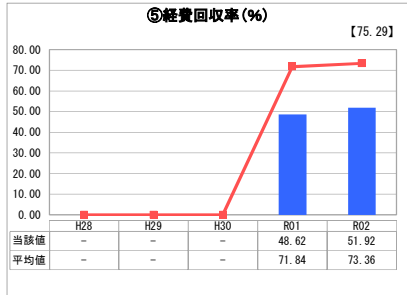
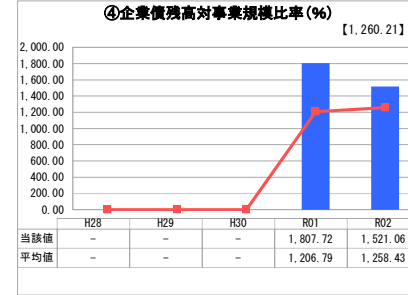
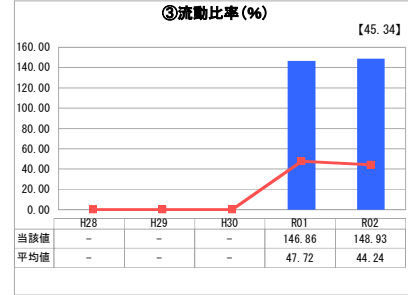
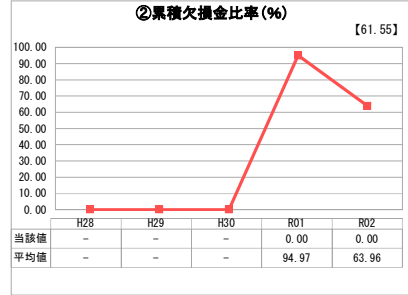
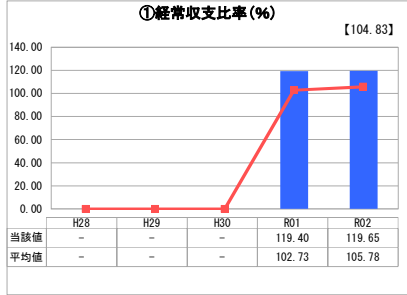
兵庫県 朝来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.46	29.35	85.36	3,140

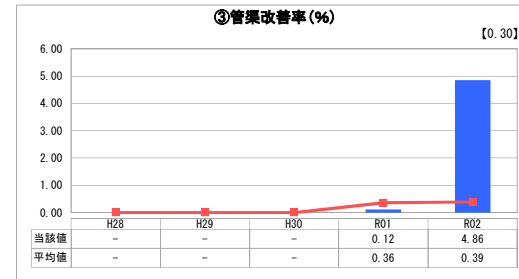
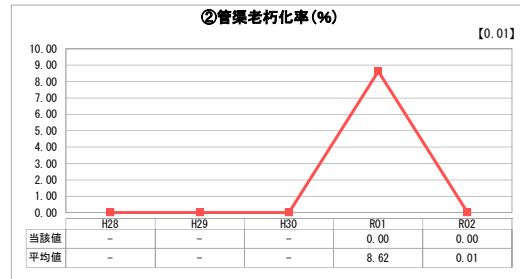
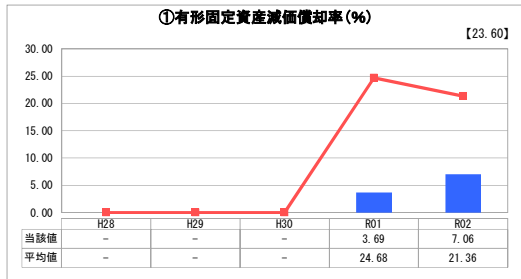
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,743	403.06	73.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,667	4.21	2,058.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 【単年度の収支】
 - ①収益的収支比率は100%を超えてはいるものの、更新投資等に充てる財源が充分とは言えない為、更なる費用削減が必要である。
- 【債務残高】
 - ④企業債残高対事業規模比率は、平均値を上回っており、老朽化する施設の更新時期が重なってくることにより、更に上昇に転じることも予想される。
- 【料金水準の適切性】
 - ⑤経費回収率は、類似団体平均値を下回っており、更新投資等に充てる財源確保のためにも、更なる費用削減が必要である。
- 【費用の効率性】
 - ③流動比率は100%を超えているが、⑥汚水処理原価については、類似団体平均値を上回っているため、更なる維持管理費の削減に努める。
- 【施設の効率性】
 - ⑦施設利用率は、施設の統合などにより類似団体に近い数値となっているが、今後も計画的に施設の統合を図り、適切な施設規模を維持していく必要がある。
- 【使用料対象の捕捉】
 - ⑧水洗化率は、類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平均値と比較して大きく下回っているが、平成7年12月の供用開始以来20年以上が経過し、施設の老朽化が進行しているため、ストックマネジメント計画にのっとり、計画的に施設更新を行う必要がある。

全体総括

本市の特定環境保全公共下水道事業は、使用料収入の大幅な伸びが期待できない状況にある一方で、施設建設から相当の年月が経過しており、施設の老朽化が進行している。
 そのような中、施設の維持管理、施設更新を強化する必要があり、引き続き厳しい状況下にある。
 以上のようなことから、事業種別を超えた処理区の統廃合を視野に入れた事業推進を行い、経営の効率化を図っていくことが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。